



地区活動方針「原点回帰」を目指し

国際ロータリー第 2790 地区 2014-15 年度
ガバナー 宇佐見 透 (千葉幕張ロータリークラブ)

国際ロータリー第 2790 地区会員の皆様、ロータリーは 1905 年の創立から 1 世紀余を経て、世界が大きく変化したのに対応すべく新たな舵を切ろうとしております。皆様と輝きに満ちた新年度を迎える喜びを共有し、理想を追い求め、緊張感を持って歩んで参ります。確かな未来を築くため、朋友ロータリアン皆様との船出にボン・ボヤージュを祈念申し上げます。R I 会長 ゲイリー C.K. ホアン氏は、2014-15 年度ロータリーテーマを「Light Up Rotary」日本語訳「ロータリーに輝きを」とする事を提唱されました。世界には問題が山積みとなっており多くの人々が助けを必要としています。しかし自分に出来る事は無いと思ひ込み、ただ座っているだけで何もしない人が大勢います。ホアン会長は 2400 年程前の中国の思想家である“孔子”の教えである『ただ座って暗闇を呪うより、1 本のろうソクを灯した方が良い』更に『まず、自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、そして国家を治めてこそ、天下が平和となる』と説かれた事から、クラブをより強力なものとし、地域社会においてロータリーの存在感を高めることでロータリーに輝きをもたらして欲しい。私が一本、貴方が一本、と全世界 120 万人のロータリアン全会員が各々ろうソクを灯し力を合わせれば、世界を光で輝かせる事が出来るのです』との熱い思いを語られました。

ロータリーは『今やっていることだけを未来永劫変えることなく、続けてゆく』という考え方から、『変わりながら続けてゆく事の大切さ』を、改めて考えて頂きたいと思ひます。

今年度、ガバナーとして地区の皆さんと「原点回帰」を合言葉に、変革を恐れずに活動して参ります。「Light Up Rotary！」「ロータリーに輝きを！」のテーマと共に。

2000 年に R I より地区に対し DLP を検討する旨の要請がありました。その後は RI 理事会より、ガバナーは地区組織を構成するうえで DLP の構成に準拠したプランを確立するよう要請されています。DLP の確立は、各クラブでそれぞれ独自に検討、取り組まれている CLP (クラブ・リーダーシップ・プラン) の明確化に繋がります。ただ CLP についての裁量権はあくまでもクラブにありますので、研修委員会セミナー、AG 訪問、ガバナー公式訪問、などあらゆる面を通じて DLP の確立と CLP の位置づけを明確にします。ロータリーは単年度制度であり組織は毎年若干変わりますが、クラブには自治権、裁量権がありますので推奨という範囲内で、以下掲げます強調事項に沿った活動を要望致します。

1. クラブ内に新たな管理運営委員会を組織頂き、更に各クラブ研修委員長と地区研修リーダーによるクラブ活性化の推進を図りたいと考えます。送付致しましたクラブ役員キットの会長要覧と共にクラブ管理運営委員会の手引きを参考にして下さい。(標準クラブ細則第 8 条第 1 節をご参照ください)
2. 増強活動と広報活動は最重要活動であり、二つの委員会はそれぞれ独自に活動する事が推奨されています。次年度の増強目標は各クラブで純増 1 名をお願いします。

3. 広報に関しロータリーがどのような活動をしているのかを地域社会の人々に知ってもらえるよう、「ロータリーデー」を開催するようクラブ毎で検討下さい。ローターアクターやインターアクターの方々に参加してもらい、新世代の若者たちが、いつの日かロータリーに入会してくれるよう声をかけて下さい。
4. 奉仕プロジェクト委員会は地区補助金(DDF)やワールドファンド(WF)を使った効果的プランを検討し各クラブにおける情報から、蒔いた種を十分に育て、資金管理を行っている財団委員会と協議し最後刈り取るまで委員会で統括して下さい。
5. 青少年奉仕委員会は、次世代を担う若い世代の健全育成を目的に、ローターアクト委員会、インターアクト委員会、青少年交換委員会、RYRA委員会の四部門で構成しました。地域の方々、顧問教師の方々、保護者の方々による理解が必要で地域社会との太い信頼関係が無ければ成立しません。今年度はロータリーデー等の行事におい

て、地域社会との融合を保つ活動を行って下さい。特にローターアクターの方々には未来のロータリアンとしての対応を望みます。

6. 東日本大震災によって保護者を失った災害児童への教育支援として「希望の風」活動はロータリーの次世代を考えた活動としてふさわしく優れた意味を持っています。好ましい公共イメージは、ロータリーの質の向上に繋がり、結果会員増強及び奉仕志向を持たれる会員増となりさらにレベルアップします。今年度特にご支援下さい。
7. ポリオ撲滅活動ですが現在の状況から“2018年のポリオ完全撲滅最終チャレンジ”を支援します。ホァン会長は「ポリオを撲滅すれば、ロータリーが偉業を成し遂げる力を備えた組織であることが実証されます。そして次なるチャレンジのための土台を整えましょう。重要なのは永遠に続くプレゼントを世界に贈れることです。」と結ばれました。ポリオ最終作戦にご協力をお願いします。

略 歴

氏 名	宇佐見 透 (うさみ とおる)	ロータリー歴
生 年 月 日	1952(S27)年 4月 19日 (62歳)	1992年 10月 千葉幕張ロータリークラブ入会
職 業 分 類	酒精飲料	2002-2003年 同クラブ 幹事
所 属 ク ラ ブ	千葉幕張ロータリークラブ	2005-2006年 同クラブ 会長
最 終 学 歴	千葉工業大学 工学部	2007-2008年 ガバナー月信編集委員
認 証	ポール・ハリス・フェロー マルチプル・ポール・ハリスフェロー ポール・ハリス・ソサエティ ベネファクター 米山功労者	2008-2009年 地区R財団奨学金委員長 2009-2010年 地区R財団補助金委員長 2010-2011年 地区第3分区ガバナー補佐 2011-2012年 地区R財団補助金委員長 2012-2013年 R. I. 第2790地区ガバナーノミニ 2013-2014年 R. I. 第2790地区ガバナーエレクト